

# 平成26年度事業報告について

## 基本方針

当社は、下水道知識の普及啓発、市町村下水道及び流域下水道施設の維持管理の支援に関する事業を行い、もって県民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することにより、公衆衛生の向上と環境の保全を図ることを目的として事業を実施しています。

## I 公益目的事業

### 1 下水道の普及促進及びその支援に関する事業（公1）

当会社が主体的に下水道知識の普及啓発を行う事業と、市町村及び県が取り組む下水道の普及促進に関する事業・活動について、多方面から幅広く支援するサービスを当社が提供することにより、下水道の普及促進を通じて、公衆衛生の向上と環境の保全を図ることを目的とする事業を行った。

#### (1) 普及促進キャンペーン事業

県民が下水道に関する知識と関心を深めることで、下水道の普及促進を図ることを目的とする各種事業を実施した。

##### ① 下水道まつり

「下水道の日」に合わせて開催していた、下水道施設を利用しての地域住民との交流イベントである“下水道まつり”は、放射能問題等の影響により中止していたが、4年ぶりに大滝根水環境センターで開催した。

平成26年9月7日 大滝根水環境センター（来場者数900人）

##### ② 下水道ポスターコンクール

小学生の下水道に対する関心を高めることを目的として、小学生対象に下水道の普及に関するポスター作品を募集し、優秀作品を表彰した。

（77校503作品）

##### ③ 快適生活下水道フォーラム

県民の水環境や下水道に対する関心を高め、接続率の向上を図ること等を目的として、「快適生活下水道フォーラム2014」を開催した。

平成26年9月28日 棚倉町文化センター倉美館（来場者数550人）

##### ④ 出前講座

県内の児童・生徒が、下水道について興味を持ち、より理解を深めることを目的として、県内の学校教育機関を対象に職員を派遣して下水道に関する講義を行った。

（小学校 5校）

##### ⑤ その他広報活動等

流域関連市町の各種イベントにて広報活動の実施や普及啓発グッズの配付を行った。

## (2) 費用助成事業

下水処理場の見学や水環境を守るための活動をとおして、下水道の役割や大切さを理解することで下水道の普及促進を図ることを目的とし、その費用の助成等により資金面からの支援を行った。

### ① 下水道ふれあいバス助成事業

県が管理する流域下水道施設等の見学を実施する県内の学校教育機関等に対して、バス借り上げ経費の助成を行った。

(5校 6台)

### ② 地域下水道まつり支援事業

市町村等が下水道事業の普及啓発を目的として実施するイベント活動に対して、費用助成によりその活動の支援を行った。

(11市町)

### ③ 水環境に関する活動助成事業

水環境の保全等をテーマとして下水道施設整備・保全につながる活動を行っている非営利団体に対して、その活動費用(資機材の購入費、活動発表における会議費、印刷費等)の助成を行った。

(4団体)

### ④ 市町村下水道事業費支援事業(管理業務のみ)

下水道の早期整備が図られるよう県内市町村に対し、当社が起債分の一部を無利子で貸付した貸付金の管理業務を行った。

(9市町)

## (3) 図書・資材支援事業

下水道の普及促進を図ることを目的として、未来を担う子供たちや下水道の普及啓発活動を行う市町村等に対して、下水道知識の向上に役立つ図書や広報資材等の提供・貸与を実施した。

### ① げすいどう文庫助成事業

県内の小学校に対して下水道に関連する図書の購入の助成を行った。

(4校 13冊)

### ② 普及啓発活動に係る広報資材支援事業

下水道普及啓発を目的として活動を行う市町村等に、公社が保有している普及啓発資材の貸し出し等の支援を行った。

(6市町村)

## 2 下水道施設の維持管理の支援に関する事業(公2)

市町村及び県が設置した下水道施設について、下水道管理者と連携を取りながら経営面、技術面の両面から維持管理業務の支援を行うことで、公衆衛生の向上と環境の保全を図ることを目的として次の事業を行った。

### (1) 維持管理支援事業

県が設置した流域下水道施設の維持管理を支援してきた実績から、民間事業者

が行う運転操作や保守点検状況の監視、施設の機能確認などの業務を行うとともに、長期的な視点での各種機器の点検・修繕計画を立案し、その計画に基づいて行う点検業務や修繕工事の管理監督を行った。また、地震、大雨、異常流入水等の緊急事態発生時には、緊急事態対策要領に基づき必要な対応、処置を行うことで安心・安全な下水道施設の管理運営に寄与した。

① 流域下水道施設

ア 県北浄化センター

阿武隈川上流流域下水道県北浄化センターの維持管理業務受託事業については、これまでどおり適正な放流水質の維持に努めるとともに、施設の効率的かつ適正な管理運営に努めた。

イ 県中浄化センター、あだたら清流センター及び大滝根水環境センター

「民間一括委託方式」が導入されている、阿武隈川上流流域下水道県中浄化センター、あだたら清流センター及び大滝根水環境センターの維持管理については、当公社が、第三者機関として受託者の業務履行確認など維持管理補完業務等の適正な業務執行に努めた。

各処理区の水質等状況表（平成27年3月31日現在）

項目	単位	県北浄化センター	県中浄化センター	あだたら清流センター	大滝根水環境センター	4センター計	
流入水量	総流入量(m <sup>3</sup> )	15,973,484	32,832,138	1,277,931	585,003	50,668,556	
	日平均(m <sup>3</sup> )	43,763	89,951	3,501	1,603	138,818	
放流水質	BOD (mg/ℓ)	測定値(最大)	5.7	11.1	8.1	4.1	—
		測定値(平均)	2.9	6.8	4.0	2.4	—
		契約基準値	15.0	15.0	15.0	15.0	—
	SS (mg/ℓ)	測定値(最大)	5.0	5.5	7.0	2.9	—
		測定値(平均)	2.3	3.0	2.4	1.6	—
		契約基準値	20.0	40.0	40.0	40.0	—
脱水 汚泥量	総発生量(t)	16,207.9	29,019.3	1,322.4	628.1	47,177.7	
	日平均(t)	44.4	79.5	3.6	1.7	129.2	
汚泥溶融	溶融量(t)	—	15,786.1	—	—	15,786.1	
施設 見学者数	団体数	6	10	9	4	29	
	見学者数(人)	137	219	225	163	744	

ウ 放射能対策受託事業

東京電力福島第1原子力発電所事故の影響により、汚泥処理施設の下汚泥から放射性物質が検出されたことに伴い、汚泥一時保管、保管テント管理、汚泥溶融施設管理、スラグ等保管施設管理、汚泥等の放射性物質濃度測定業務等について、適正な業務執行に努めた。

なお、放射性物質の濃度低下や減容化施設の稼働により、一時保管汚泥量は減少している。

各処理区汚泥等保管状況表（平成27年3月31日現在）

（単位：t）

項目	県北浄化センター	県中浄化センター	あだたら清流センター	大滝根水環境センター	4センター計
脱水汚泥等	25,088.9	12,018.8	0.0	0.0	37,107.7
溶融スラグ	—	2,204.3	—	—	2,204.3
溶融ダスト	—	189.5	—	—	189.5
合計	25,088.9	14,412.6	0.0	0.0	39,501.5

## ② 公共下水道施設

市町村が管理する公共下水道施設について、当社が維持管理状況の確認及び助言提案など技術的支援を行い、適正な管理運営に寄与した。

### (2) 下水道災害発生時資材支援事業

災害時支援資材として、マンホール接続用トイレ12基を備蓄している。

また、下水道の普及啓発イベント時の展示用として貸出しを行った。

（1村 1件）

## 3 下水道技術の維持・発展に関する事業（公3）

下水道技術者の技術力の維持・発展を図ることにより、公衆衛生の向上と環境の保全を図ることを目的とする次の事業を実施した。

### (1) 下水道技術に関する調査・研究事業

下水処理場、ポンプ場、管渠等から構成される下水道施設の計画・設計、管理運営等においては、様々な技術的課題が発生する。

本事業は、これらの課題に対して当社が調査、研究を行うものであり、調査や実証実験等を通じて得られた結果は、報告書として取りまとめて関係機関に配布するとともに、当社ホームページで公開した。

平成26年度は次の調査・研究を実施した。

① 管渠内硫化水素濃度調査その2

② GPS機能付きデジタルカメラ撮影による位置情報の取得とスマートフォン等を利用したナビゲーション実験

③ 仮設焼却施設稼働による水処理への影響について【汚泥溶融施設との比較検証】

また、平成26年7月に行われた第51回下水道研究発表会（（公社）日本下水道協会主催）にて、平成25年度の調査・研究結果である「下水汚泥に含まれる放射性セシウム濃度の降雨後上昇に関する考察」について発表した。

(2) 下水道技術者養成事業

市町村及び県において下水道事業に従事する職員を対象として、下水道の維持管理等に関する情報の提供や、技術者の育成・技術力向上のための研修を行うことで、市町村及び県の下水道行政を支援する事業を行った。

① 下水道維持管理研修会

平成26年11月4日（福島市）（参加人数60名）

② 市町村下水道担当職員研修

初級研修 平成26年7月1日～3日（福島市）（参加人数23名）

中級研修 平成26年8月6日～8日（福島市）（参加人数10名）

③ 下水道事業相談業務

下水道事業に関する各種相談に対し、専門的な助言等を行った。

（7団体 9件）

(3) 下水道排水設備工事責任技術者資格認定事業

下水道排水設備工事を安全でかつ適正に施工するために必要な排水設備責任技術者の技術力向上等を目的とし、責任技術者に係る認定試験、受験講習会、登録更新講習会及び名簿登録事務を実施した。

平成26年4月から平成27年3月までの事業概要は次のとおりである。

① 下水道排水設備工事責任技術者試験等運営委員会

平成26年5月13日に開催し、平成26年度の事業計画等を決定。

② 下水道排水設備工事責任技術者試験等小委員会（第1回）

平成26年5月30日に開催し、認定試験及び講習会の実施内容等を決定。

③ 下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験受験講習会

開催日	開催場所	受講者数	申込者数
平成26年10月2日	郡山市	207人	212人

④ 下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験

開催日	開催場所	受験者数	申込者数
平成26年11月2日	郡山市	218人	240人

⑤ 下水道排水設備工事責任技術者登録更新講習会

開催日	開催場所	受講者数	申込者数
平成26年12月4日	会津若松市	191人	191人
平成26年12月25日	郡山市	299人	299人
平成27年1月15日	福島市	298人	298人
平成27年1月22日	南相馬市	87人	90人
平成27年1月29日	郡山市	232人	232人
平成27年2月5日	いわき市	188人	190人
平成27年2月17日	郡山市	148人	152人
計	7会場	1,443人	1,452人

⑥ 下水道排水設備工事責任技術者試験等小委員会（第2回）

平成27年2月20日に開催し、平成26年度の事業報告及び平成27年

度の事業計画等を決定。

## II 収益事業

### 1 下水道工事に関する設計積算等の受託に関する事業（収1）

当公社が培ってきた経験及び技術力を生かし、下水道事業に関する設計積算等の受託に関する事業を実施した。

#### (1) 下水道工事に関する設計積算等の受託に関する事業

市町村及び県が実施する下水道工事に係る設計積算等を受託し、市町村及び県の適切かつ円滑な事業実施を支援した。

#### (2) 市町村長寿命化計画策定業務支援事業

当社が開発した管渠施設管理システムである「長寿命化データ処理システム」を用いて「市町村下水道長寿命化計画」の策定業務を補完し、市町村が円滑に「下水道長寿命化支援制度」を活用できるよう支援を行った。

平成26年4月1日から平成27年3月31日までは、下記のとおり16団体延べ30件を受託した。

受託団体	受託内容
福島市	積算業務 1
白河市	設計積算業務 2
	長寿命化(台帳)業務 1
	長寿命化システム保守業務 1
二本松市	設計積算業務 1
田村市	積算業務 1
伊達市	設計積算業務 1
桑折町	設計積算業務 1
	長寿命化(台帳)業務 1
	長寿命化システム保守業務 1
国見町	設計積算業務 1
	長寿命化(台帳)業務 1
	長寿命化システム保守業務 1
鏡石町	設計積算業務 3
会津坂下町	設計積算業務 2
	事業計画認可変更業務 1
矢吹町	設計積算業務 2
浅川町	積算業務 1
	計画策定業務 1
富岡町	測量設計積算業務 1
浪江町	積算業務 1

西 郷 村	設計積算業務	1
福島県生活環境部	積 算 業 務	1
福島県県北流域下水道建設事務所	設計積算業務	1
	システム用台帳作成業務	1
計 1 6 団 体		3 0 件

## 2 下水道に関する水質分析の受託に関する事業（収2）

これまで流域下水処理場での水質管理において、当社が培った豊富な経験を生かし、水質分析の専門技術者である環境計量士を配置して、公平・中立的な立場から下水道管理者の責務である水質管理業務を支援した。

平成26年4月1日から平成27年3月31日までは、下記のとおり8市町からを受託した。

受託市町	受託内容	水質検査箇所
須賀川市	流域下水道接続点における水質検査	4箇所
鏡石町	同 上	6箇所
矢吹町	同 上	1箇所
伊達市	同 上	5箇所
桑折町	同 上	1箇所
国見町	同 上	1箇所
二本松市	同 上	3箇所
田村市	同 上	4箇所
計	8市町	25箇所

## III その他

当該年度の実施計画や過年度の実施状況等については、当社ホームページの他、四半期ごとに発刊している季刊誌「下水道公社だより」などで広く県民に情報発信した。

#### IV 管理部門

##### 1 職員の状況

(平成27年5月1日現在)

組 織	構 成 職 員 数					
	事務	土木	機械	電気	化学	計
本社	6	9			1	16
県北浄化センター		3		2	1	6
県中浄化センター		1	1	4	3	9
あだたら清流センター		1	1	(2)	1(1)	3(3)
大滝根水環境センター			(1)	(3)	(2)	(6)
合 計	6	14	2(1)	6(5)	6(3)	34(9)

※職員のうち福島県からの派遣職員数は6名。( )は兼務職員数。

##### 2 役員及び評議員の状況

###### (1) 役員数

(平成27年5月18日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1		1
常務理事	1		1
理 事		7	7
監 事		2	2
計	2	9	11

###### (2) 評議員数

(平成27年5月18日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員		7	7

## (3) 役員名簿

(平成 27 年 5 月 18 日現在)

役 名	氏 名	役 職	備 考
理 事 長	松 本 英 夫	(常 勤)	代表理事
常務理事	小 牛 田 政 光	(常 勤)	業務執行理事
理 事	栗 山 哲	福島市下水道部長	
理 事	遠 藤 喜 正	国見町参事 (兼) 上下水道課長	
理 事	鈴 木 克 裕	二本松市上下水道部長	
理 事	服 部 健 一	郡山市下水道部長	
理 事	安 藤 和 哉	須賀川市建設部長	
理 事	高 原 芳 昭	鏡石町参事 (兼) 上下水道課長	
理 事	杉 明 彦	福島県土木部次長 (都市担当)	
監 事	川 村 栄 司	福島市会計管理者	
監 事	菅 野 俊 幸	公認会計士	

## (4) 評議員名簿

(平成 27 年 5 月 18 日現在)

役 名	氏 名	役 職	備 考
評 議 員	嶋 原 貞 男	伊達市副市長	
評 議 員	渡 邊 正 樹	矢吹町副町長	
評 議 員	志 村 和 俊	田村市副市長	
評 議 員	日 下 亮	会津坂下町副町長	
評 議 員	大河原 聡	福島県土木部長	
評 議 員	橋 本 孝 一	福島工業高等専門学校 名誉教授	
評 議 員	阿 部 隆 彦	一般財団法人とうほう地域総合研究所理事長	

### 3 理事会・評議員会に関する事項

#### (1) 理事会

理事会は、計6回開催されその審議内容は以下のとおりであり、提出議案すべてが原案のとおり可決又は承認された。

- ① 第12回理事会（平成26年4月9日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 第8回評議員会の開催について（決議の省略の方法による）
- ② 第13回理事会（平成26年5月7日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 第9回評議員会の開催について（決議の省略の方法による）
- ③ 第14回理事会（平成26年5月28日 於：福島市、杉妻会館）
  - ・報告事項 職務執行状況の報告について
  - ・提出議案 議案第1号 平成25年度事業報告及び決算について  
議案第2号 第10回評議員会の招集について
- ④ 第15回理事会（平成26年6月12日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 理事長（代表理事）1名の選定について  
議案第2号 常務理事（業務執行理事）1名の選定について
- ⑤ 第16回理事会（平成26年8月7日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 第11回評議員会の開催について（決議の省略の方法による）
- ⑥ 第17回理事会（平成27年3月26日 於：福島市、杉妻会館）
  - ・報告事項 職務執行状況の報告について
  - ・提出議案 議案第1号 平成26年度 収支補正予算について  
議案第2号 平成27年度 事業計画及び収支予算について  
議案第3号 諸規程の一部改正について  
議案第4号 第12回評議員会の開催について（決議の省略の方法による）

#### (2) 評議員会

評議員会は、計5回開催されその審議内容は以下のとおりであり、提出議案すべてが原案のとおり可決又は承認された。

- ① 第8回評議員会（平成26年4月18日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 平成26年度常勤役員の報酬等について
- ② 第9回評議員会（平成26年5月16日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 評議員の選任について  
議案第2号 理事の選任について
- ③ 第10回評議員会（平成26年6月12日 於：福島市、杉妻会館）
  - ・報告事項 平成25年度事業報告について
  - ・提出議案 議案第1号 平成25年度決算について  
議案第2号 理事の選任について
- ④ 第11回評議員会（平成26年8月26日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 理事の選任について
- ⑤ 第12回評議員会（平成27年3月31日 決議の省略の方法による）
  - ・提出議案 議案第1号 理事の選任について

#### 4 許認可・登記に関する事項

設立許可及び法人設立登記の状況は次のとおりである。

件名	申請先	許認可・登記月日	備考
役員に関する事項の変更に伴う登記	福島地方法務局	平成26年 4月1日	理事1名の就任登記
役員に関する事項の変更に伴う登記	福島地方法務局	平成26年 5月16日	評議員1名の就任登記 理事4名の就任登記
役員に関する事項の変更に伴う登記	福島地方法務局	平成26年 6月12日	理事9名の就任登記 代表理事1名の就任登記
役員に関する事項の変更に伴う登記	福島地方法務局	平成26年 6月30日	理事1名の辞任登記
役員に関する事項の変更に伴う登記	福島地方法務局	平成26年 8月26日	理事1名の就任登記
役員に関する事項の変更に伴う登記	福島地方法務局	平成27年 3月31日	評議員1名の辞任登記 理事3名の辞任登記 代表理事1名の辞任登記 監事1名の辞任登記

5 事業に関する事項 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

年	月	日	事	項	備考
26.	4.	1	流域下水道維持管理業務及び維持管理補完業務委託契約締結(福島県知事)		
	4.	1	下水道汚泥放射能対策業務委託契約締結 (福島県県北・県中流域下水道建設事務所長)		
	4.	1	役員に関する事項の変更に伴う登記(福島地方法務局)		
	4.	9	第12回理事会(書面決議)		
	4.	18	第8回評議員会(書面決議)		
	5.	7	第13回理事会(書面決議)		
	5.	13	下水道排水設備工事責任技術者試験等運営委員会(郡山市)		
	5.	16	第9回評議員会(書面決議)		
	5.	16	役員に関する事項の変更に伴う登記(福島地方法務局)		
	5.	26	監事監査(平成25年度)(福島市)		
	5.	28	第14回理事会(福島市)		
	5.	30	下水道排水設備工事責任技術者試験等小委員会(福島市)		
	5.	30	第22回下水道普及啓発等実行連絡委員会(福島市)		
	6.	12	第10回評議員会(福島市)		
	6.	12	第15回理事会(書面決議)		
	6.	12	役員に関する事項の変更に伴う登記(福島地方法務局)		
	6.	30	役員に関する事項の変更に伴う登記(福島地方法務局)		
	7.1-	3	市町村下水道事業担当職員研修(初級)(福島市)		
	8.6-	8	市町村下水道事業担当職員研修(中級)(福島市)		
	8.	7	第16回理事会(書面決議)		
	8.	26	第11回評議員会(書面決議)		
	8.	26	役員に関する事項の変更に伴う登記(福島地方法務局)		
	9.	7	下水道まつり(大滝根水環境センター)		
	9.	28	快適生活下水道フォーラム2014(棚倉町)		
	10.	2	下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験受験講習会(郡山市)		
	11.	2	下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験(郡山市)		
	11.	4	下水道維持管理研修会(福島市)		
	11.	5	財政的援助等団体監査に係る県監査委員事務局調査		
27.	1.	21	財政的援助等団体監査(委員監査、概評)		
	1.	27	福島県公益認定等審議会による運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査		
	2.	18	監事による中間監査(福島市)		
	2.19・	25	公益財団法人福島県下水道公社職員研修会(福島市)		
	2.	20	下水道排水設備工事責任技術者試験問題等小委員会(福島市)		
	2.	20	第23回下水道普及啓発等実行連絡委員会(福島市)		
	3.	26	第17回理事会(福島市)		
	3.	31	第12回評議員会(書面決議)		
	3.	31	役員に関する事項の変更に伴う登記(福島地方法務局)		